

## おもてなしメールサービスの利用分野

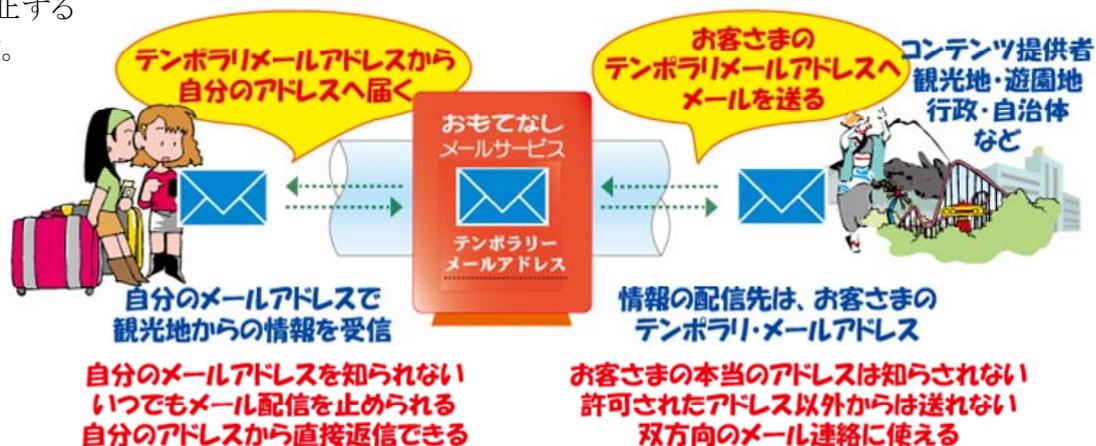
### 1. 海外からのお客さまが多く訪れる観光地からの情報配信

お客さまは、観光地を訪れる前から観光地のホームページをアクセスして、情報を収集します。このとき、「おもてなしメールサービス」が用意されていることで、お客さま自身のメールアドレスの代わりに「テンポラリー・メールアドレス」を使って登録することができます。

訪問中も「おもてなしメールサービス」によって自身のメールアドレスへ様々な情報が届けられます。

また、外国人向けに翻訳された防災情報や震災・火山情報のほか、旅行中の安全・安心につながる行政サービスも併せて配信することなどにも活用できます。

旅行を終えたお客さまは、「おもてなしメールサービス」へ Good Bye と通知をすることで、全てのメール配信が止まります。期限を決めた旅行であれば、サービスの停止をスケジュールしておくことで、自動的にメール配信を停止することも可能です。



### 2. 不動産購入希望者向けの情報配信

マンションや住宅の購入を検討しているお客さまに対して、不動産事業者がメールを使って情報を提供するケースでは、「おもてなしメールサービス」はお客さまを獲得する効果の高い営業ツールとなります。

不動産事業者へは、お客さまのメールアドレスが通知されていないので、不動産購入後にテンポラリー・メールアドレスを削除して情報配信サービスを停止することで、以後、不動産事業者からのメール配信は一切発生しません。自分で住む物件を探している購入希望者にとって、物件の品定めをしている間は不動産事業者からの情報が必要ですが、住まいの購入を済ませたお客さまにとっては、購入しなかった不動産事業者からの情報配信は不要になります。

「おもてなしメールサービス」は、このようなケースに於いても、利用価値の高いサービスになります。



### 3. 求職者と求人企業との連絡手段

就職活動に於いても、求職者が企業に対してメールアドレスを登録して連絡を取り合うことが一般的になっています。

求職者は就職先が決まってしまうと、メール登録をした多くの企業の人事担当者との連絡を取る必要がなくなります。企業も求人だけの為に、求職者個人のメールアドレスを収集・管理しなければならず、情報漏えい対策が万全であったとしても、標的型メール攻撃など防御することが困難な事故の危険にさらされてしまいます。

このような求人業務に於いても、「おもてなしメールサービス」を利用することで、求職者個人のメールアドレスを収集することがなく、また、求職者自身によって求職先企業へエントリーをしたメールアドレスを無効化できるということは、大いに利用価値の高いサービスになります。



### 4. メールの授受に於いて、期限を切って利用する業務に最適

短期に結論を出して以降継続しないようなサービス(相談、サポート、問い合わせなど)や、目的を果たしてしまっ後はやり取りの必要のない業務(前述の不動産購入者、求職者など)での活用が見込まれます。永続的でなく、一時的に提供するサービスのコミュニケーション手段として、「おもてなしメールサービス」は最適な選択肢です。